

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	花ことば (児発)		公表日 2025年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	基準人員等を検討しながら配置をしています。	今後必要な人員等を検討し、配置出来るよう気をつけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3	毎週、全体会議ができるよう時間を決めて設けている。児童の情報共有や活動を定める、今週の振り返りを行う日などを作っている。	活動の決定、内容の提案等、全体で話し合う機会があるが、意見が出ない状況がある。子どもが何をしたいかを考えて検討していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者、従業員に対する評価表は今回実施している。毎年11月ごろに配布回収をして、集計を行うようにしている。	従業員への周知が不十分であったため、保護者評価の結果を周知できるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	職員からの意見は常時発信していい事を伝えて関わっている。また年2回以上の面談を実施するようにしている。	意見を伝える方法や情報共有の方法を検討していく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		実施できていない。今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		外部研修への参加は推進している。日中の参加ができるよう配慮していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	支援プログラムはだれでも見れる環境に配置している。また活動に関しては全体会議の中で決定している。	意見を伝えることや自己発信が出来ていない状況があるので今後話し合い方法を検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2		計画書は児童発達支援管理責任者が作成し、計画書案に関しては職員間で情報共有を図るようにしている。ご家族との面談や担当者会議があった際にはその週の金曜日に全体に向けて報告を行うようにしている。しかし、「いいえ」と答えている職員もいるため、共有について検討をしていく必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	月間で活動を決定し、週ごとに内容を変更している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	活動については、季節の行事を含め児童の要望を聞きながら立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	基本的には個別+小集団療育を主軸として実施している。計画書に沿って保護者に了承を得て実施している。	児童の状況や職員配置の点で変更になる日もある。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		職員間での話が不十分であり、振り返りは週末に偏ってしまっている。その日の課題はその日に出来るよう声掛けを行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2	半年に1回のモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている。	職員への周知が不十分である。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	移行支援シートを作成するようにしている。	職員への周知が不十分である。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			対象外	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			対象外	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			対象外	
31	(31は、事業所のみ回答)					
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		未実施である。今後検討していきたいと思う。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		保育園や幼稚園との交流は出来ていない。公共機関や地域の公園、児童館を使用するようにしている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		家族支援として送迎や連絡帳、面談等を行い情報共有を図れるようにしている。保護者に向けての研修等は未実施。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	重要事項説明書や契約書を使用し、保護者に説明を行っている。	職員への周知が不十分である。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		保護者会は未実施である。家族支援の重要性が出てきているため、今後検討していきたいと思う。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域の方との交流は出来ていないが、地域資源は活用できるようにしていく。またInstagramを使用し、地域に向けて発信していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		マニュアル作成は実施している。職員へ周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		家族、従業員に対して周知できるよう整備していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	身体拘束が必要な児童が現在いないため、計画書作成には至っていない。必要な場合は説明と同意をとるようにする。	

事業所名	花ことば（放デイ）
------	-----------

公表日 2025年 3月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	法律の人員配置に沿って実施している。	利用者数や状況に合わせて検討していく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	週末会議、情報共有会議を実施している。	会議で発信できる職員と出来ない職員がいる。会議内容や状況を検討していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		毎年11月ごろに評価表を配布回収をしている。ホームページに掲載している。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	職員からの意見は常時発信している事を伝えて関わっている。また年2回以上の面談を実施するようにしている。	意見を伝える方法や情報共有の方法を検討していく必要がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	未実施	今後第三者評価を検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		外部研修を推進する。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	活動は全体会議で決めて、支援内容を決定している。	保護者に毎月発信するようにしている。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	保護者と面談を行い、アセスメント、要望、児童の状況等について情報共有を図り、計画書を作成するようにしている。また計画書案を職員に周知し、同意を得るようにしている。	周知の方法や検討方法を変更していく必要がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	2024/4より法律改正があり随時計画書を変更している。	保護者への説明を実施する際に丁寧に細かく説明を実施していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	活動は全体会議で決めて、支援内容を決定している。基本的に週ごとに活動を変更して児童全員が経験できるよう実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	毎日のスケジュールで個別と集団療育の時間を設けている。時間を決めて実施。下校時間等により、集団活動のみになる場合もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	週末会議で振り返りと情報共有を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2	半年に1回はモニタリングと計画の見直し、ご家族への説明を実施している。	職員への周知が徹底出来ていない。周知方法を検討していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	3	ガイドラインに沿って、活動のプログラムを作成している。	職員への周知が徹底出来ていない。周知方法を検討していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		他職種や地域のスーパーバイザーからの助言等を受ける機会や第三者の意見を聞く機会がない。今後の課題としていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	地域の公園や児童館などを使用し、地域との交流を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		基本毎回参加しているが、職員への周知が不十分であった。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		保護者への情報共有は行っているが、研修等を実施できていないため、今後の課題としていく。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時に説明を実施している。重要事項説明書や契約書に沿って説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		父母の会、保護者会未実施。交流会を含め、実施していきたいと思う。
	41	ごどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	2	保護者との面談等では、必要な配慮を実施している。個室での対応や送迎時間等に合わせる等実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	招待等は出来ていないが、地域に事業所を知ってもらうようSNSを活用している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	マニュアルはすべて作成している。また、いつでも見れるところへの設置を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	保護者との連絡手段は電話のほかにLINEを交換することで連携がスムーズに図れるように対応している。ご家族へも説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2		県の研修に参加し、参加した職員が事業所で研修するように実施している。今年度は未参加のためR7年度に参加していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	身体拘束が必要な対象児童がいない。同意書や計画書の中に記載できるよう体制は整えている。		

事業所名	花ことば（訪問）
------	----------

公表日 2025年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		児童に合わせて興味を持てる物や季節の行事等を考えて教材を選ぶようにしている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		訪問支援のみであれば職員の配置は十分であるが、兼任であると人員配置を検討する必要がある。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		情報共有を密に行う必要がある。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		保護者と児発管の中で話す内容が職員まで伝達できるよう配慮をしていく。共有していく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	職員からはその都度疑問点や課題等を上げるように伝えている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		未実施である。今後検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		
	8	個々のごどもに対してアセスメントを適切に行い、ごどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	1		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、ごどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、ごどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	1		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			

適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2		訪問支援の場合は一人での訪問になっているためチーム連携が出来ていない状況である。特に通所も併用している児童に関しては通所時と訪問時の共有が出来るように情報共有をしていく必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	1		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	医療・福祉・教育児童に関わる機関との共有、連携は積極的に図るようにしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	小学校入学までにどこを目標にして、介入するのか今後の方向性等を検討・共有しながら行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	外部研修がある場合には職員に打診をしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	基本的には参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		情報共有を図る事は出来ているが、研修会等保護者支援が未実施になっている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	1		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1	保護者とはLINEや面談を実施しながら相談を受けられる体制を整えている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2		保護者会は未実施である。研修会等も含め今後検討していきたいと思う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	SNSで事業所の紹介等は実施している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		
非	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		マニュアル作成はしているが、職員への伝達が不十分であった。

常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	身体拘束が必要な対象児童はおらず。同意書や計画書に記載できるよう体制は整えている。	